令和３年度　職員アンケート集計

通し番号	評価項目		具体項目	具体的方策	評価の平均
1	①	重点的な取り組み	学力向上	生徒の学力向上に向け、様々な視点で取り組みが行われている。	3.4
2			キャリア教育	産社・総探、特別活動をとおして、生徒の適性に応じた指導の蓄積が行われている。	3.2
3			社会性	生徒主体の学校行事や部活動などをとおして、コミュニケーション能力が図れている。	3.3
4			地域との連携	平戸を知る、調べる、動く、発見するという活動が実践されている。	3.3
5	②	地域に信頼される学校を目指す	出席率99%	生徒は毎日しっかり登校している。	3.6
6			入学してよかった80%	生徒は学校生活を有意義に送っている。	3.3
7			ホームページの公開	積極的に公開を図っている。	3.5
8			オープンスクール	平戸高校の良さを発信できた。	3.8
9	③	授業を大切にする学校	ＬＨＲの曜日移動	学校行事の曜日分担がなされ、授業カットの平準化が図れている。	3.6
10			短縮授業の連絡	非常勤講師も含め、日程変更の連絡が速やかにできている。	3.4
11			観点別評価	評価システムの構築が図れている。	3.3
12	④	学びの共同体	一人もひとりにしない	授業研究会において、自身の授業改善が図れている。	3.5
13			50分間、学び続けられる授業	授業研究会で、自身の授業改善が図れるようになった。	3.7
14			教育の専門性の向上	生徒（教科）指導の前に、生徒が学ぶ環境や事実の背景を考えるようになった。	3.7
15			主体的・対話的で深い学びアンケート	「我慢」している生徒に注視するようになった。	3.5
16	⑤	図書館	感性豊かな生徒の育成	図書だより、図書の配置など、図書利用向上に工夫がなされている。	3.7
17				レファレンス機能があることを知っている。	2.9
18	⑥	美化	日々の清掃活動	生徒は、しっかり清掃活動に取り組んでいる。	3.1
19			美化委員会	専門委員会の活性化（生徒主体）を促進させる。	2.9
20	⑦	生徒指導・生徒会	高校生らしい爽やかな容儀	定期的に容儀検査を行い、日頃から身だしなみを整えて生活をしている。	2.9
21			携帯電話のルール・マナー	携帯電話のスマートな利用を心掛け、他者に対して不快な思いをさせないように使用することができる。	2.8
22			いじめのない学校	良好な交友関係を築き、いじめゼロの学校を目指す。	3.6
23			学校行事	生徒会執行部を中心として、生徒主体の学校行事を企画・運営する。	3.5
24			専門委員会	各委員会の特色を生かし、平高の活性化に努める。	2.7
25	⑧	進路指導	進路ガイダンスの充実	就職・進学について、必要な情報を入手することができた。	3.5
26			補習や模試への意欲	自己の進路実現に向け、取り組むことができた。	2.9
27			情報共有	学年会等をとおして、生徒の現在の状況を把握できた。	3.6
28	⑨	相談・特別支援教育	アンケートの実施	定期的にアンケートを実施し、早期発見及び実態把握をすることができた。	3.8
29			支援体制	各種委員会を実施し、情報共有を行うことで支援体制の充実を図ることができた。	3.8
30			ＳＣ・ＳＳＷとの連携	定期的に外部専門家と連携をとり、校内の支援へとつなげることができた。	3.5
31	⑩	保健	安全管理	安全点検を行い、事故の未然防止に努めている。	3.5
32			健康への意識醸成	保健だよりの発行など、健康に関する情報発信ができている。	3.8
33			性教育・薬物乱用防止教育	生徒の実態に合った性教育や薬物乱用防止教育が実施できた。	3.7

成果と課題（自由記述）

学務部
・ホームページ更新について、不慣れな先生方もいらっしゃると思うので研修会を開いてはどうでしょうか？

生徒支援部
・対外模試については検討した方がいいと思います。今年度は、学年で「受験する・受験しない」が分かれているので、来年度はそうならないようにした方がいいと思います。
・進路実現に向けての全職員に対する情報共有や研修の実施が不足していると思われます。